板書例

1　第一段

◆「彼」の状況

・日曜日の昼時

・平日は勤めに出ている

・昼食はモリソバ

・ブザーは不要なもの

◆えたいの知れぬ狼狽

1　来訪者の意図がわからない

2　自分よりも家が優位にある